

## 幼児教育学科

科目名: 保育内容(健康)				担当教員 氏名: 小川 耕平					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	専門科目	演習	3単位 選択必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのよ健康運動指導士として、健康づくりに関連する普及活動を行ってきたことから、個々の現在の健康・体力にうな授業を行っているか: 関する状況を把握したうえで生涯を通じてスポーツ実践を継続するための基礎的な知識を理解する。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
自らの健康状態について把握と生涯を通じた健康づくりの重要性の知識に関する理解を深めた上で、年齢層に応じた健康づくりの取り組みについて、知識と技術を習得する。						・スキヤモンの発育曲線 ・健康づくり ・幼児期の健康づくり			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)						
			1. 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10						
A 知識・理解力			生涯を通じた健康づくりのための取り組みや指針などを説明ができる						
B 専門的技術			幼児期の発育・発達特性について、スキヤモンのグラフを用いて説明ができる						
E 自己管理能力			自分の健康状態を把握し、健康増進のための健康づくりについて実践できる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	80 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 デモスキャッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業終わりに毎回ミニレポートを提出する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート用紙返却時にコメントにてフィードバック									
授 業 計 画							準備学習(予習・復習等)		
							学習内容		学習に必要な時間(分)
①日本の健康づくりの歴史と現在の健康づくり施策について							事後: 国の健康づくりについて理解する		30分
②健康づくりの3原則と実践方法について							事後: 健康づくりの3原則の実践		30分
③年代に応じた健康づくり(青年期)							事後: 自分の健康状態を理解する		30分
④年代に応じた健康づくり(高齢期)							事後: 高齢者の健康について理解する		30分
⑤年代に応じた健康づくり(乳・幼児期)							事後: 幼児期の健康について理解する		30分
⑥基本的な生活習慣について							事後: 基本的な生活習慣について理解する		30分
⑦安全環境と安全教育							事後: 安全について理解する		30分
⑧幼児期の疾病と応急処置							事後: 応急処置方法を理解する		30分
⑨活動時のリスクマネジメントについて							事後: リスクマネジメントを理解する		30分
⑩スキヤモンの発育曲線について							事後: スキヤモンの発育曲線を理解する		30分
⑪幼児期に必要な身体活動について							事後: 身体活動量について理解する		30分
⑫健康づくりの指導計画と指導方法について							事後: 健康づくりの指導方法を理解する		30分
⑬幼児期の健康づくりのための活動を考える①							事後: これまでの内容をまとめる		30分
⑭幼児期の健康づくりのための活動を考える②							事後: これまでの内容をまとめる		30分
⑮幼児期の健康づくりのための活動を考える③							事後: これまでの内容をまとめる		30分
使用テキスト: 特になし。適宜資料を配布します					その他参考文献など: 保育内容(健康) 光生館				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									